

所属研究団体日本遺伝学会 令和2年度 事業計画書

事業計画の概要

本会は遺伝に関する研究を奨め、その知識の普及をはかるため、下記諸事業を計画する。

1. 学会誌Genes & Genetic Systemsの発行(隔月1回)
 - (1) Vol 95 No.1~No.6を発行する。
 - (2) 日本出版貿易を通じて、国内外の購読機関に頒布する。
 - (3) 別刷論文の注文を受ける。
 - (4) すぐれた論文を発表した著者にGGs PRIZE 2020を授与する。

2. 年次大会の開催(第92回大会をくまもと県民交流館パレアにて開催)
 - (1) 学会員を対象とした一般口頭発表および学生会員を対象としたポスター発表を開催する。
 - (2) 海外より研究者を招聘し、今年度は遺伝学会100周年記念国際シンポジウムも開催する。
 - (3) 公募による特定のテーマでのワークショップを開催する。
 - (4) 通常のワークショップに加え、シニア会員企画による、長年の経験や立場の異なる視点から見たアドバイスなどを若い会員に伝えるワークショップを開催する。
 - (5) 総会を今年度より大会最終日に行う。
 - (6) 大会で発表する学生の大会参加旅費の一部を援助する。
 - (7) 男女共同参画推進の一環として大会へ参加するための支援を行う。
 - (8) 第91回大会Best Paper賞受賞者によるプレナリーワークショップを開催する。
 - (9) 一般口頭発表者から優れた成果を発表した者をBest Paper賞候補者として選考する。
 - (10) ポスター発表者(学部学生、修士課程の学生)からすぐれた発表を行った者にポスター賞(Young Best Poster賞)を授与する。
 - (11) 台湾(Academia Sinica)から学生2名を招聘し、大会での口頭発表や議論を通じて国際交流をはかる。また、大会後の日本人研究者への研究室訪問の支援を行う。
 - (12) 市民公開講座を最終日に開催する。

3. 日本遺伝学会創立100周年記念行事
「遺伝学の百科事典(丸善)」を刊行する。

4. 春季分化会
 - (1) 会員、非会員によるポスター発表を開催する。
 - (2) 特別講演として元日本遺伝学会会長の堀田凱樹先生に講演いただく。

5. 木原賞・奨励賞の授与
 - (1) 遺伝学の分野で特に顕著な業績をあげた会員に木原賞を授与する。
 - (2) 遺伝学の特定の分野で優れた研究を活発に行い、将来の成果が期待される会員に奨励賞を授与する。

6. 遺伝学談話会の開催

各地区の会員の交流を目的に遺伝学談話会を開催する。昨年度は第18回、19回と開催された為、今年度は開催地未定。

7. 委員会の活動等

(1) 遺伝学教育用語検討委員会

「遺伝学用語集一改訂版(NTS)」を刊行予定。

(2) 男女共同参画推進委員会

本学会は男女共同参画推進学協会連絡会に加盟している。

年次大会中に大会へ参加するための支援を行う、また、ランチョンセミナーを開催する。

(3) 生物科学学会連合

本学会は「生物科学」の健全な発展のために各学協会と協力し活動を行っている。本年度は生物多様性に関するシンポジウムの開催が予定されている。

(4) 自然史学会連合

本学会は自然史科学の研究・教育の振興を目的として、動物学・植物学・地学など主に基礎的な野外研究に関連する学会と協力して、関幅広い活動を進めている。

所属研究団体日本遺伝学会
令和2年度 収支予算書

収入の部	(単位千円)	
	摘要	予算
1	学会費	5,500
2	賛助会費	20
3	科学研究費補助金	4,000
4	事業収入	3,101
	雑誌売上	500
	投稿費	2,300
	別刷代	300
	利息	1
5	木原基金	200
6	雑収入	444
	小計	13,265
	総計	13,265

支出の部	(単位千円)	
	摘要	予算
1	事業費	6,315
	雑誌製作費	4,200
	大会補助費	1,000
	遺伝学談話会補助費(ナイトゼミナール代)	240
	大会学生旅費補助	750
	協力委員会分担金	125
2	評議委員会/幹事会費/委員会費	1,000
3	事務費	3,150
	雑誌発送費	450
	編集経費	1,800
	事務局経費	900
4	学会賞関係費	300
5	謝金	1,300
6	国際シンポジウム	1,200
	小計	13,265
	総計	13,265